



ホロナイ鳥瞰 油彩S30

北山 寛一 自選展「ホロナイ鳥瞰へ」

2026年6月2日(火)～7月14日(火)

会場：岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館

岩見沢市7条西1丁目 電話：0126-23-8700

開館時間：午前10時から午後6時(木曜日は午後1時30分から午後6時)

入館料：一般 300円 / 高校生・大学生 210円 / 中学生以下無料

休館日：毎週水曜日、祝日の翌日

主催：岩見沢市教育委員会・岩見沢市絵画ホール

※展覧会の案内ハガキをご持参いただくと無料となります(1枚:2名様まで)

『ホロナイ』は札幌から北東へ約50km、明治時代から炭鉱で栄えた歴史のある町です。かつて多くの人々が生活していた駅のそばの商店街には、今では数人の老人が住んでいるのみです。この地からは離れがたい濃密な人生の思い出があるのでしょう。

この駅を舞台とした「鉄道員」という小説が多くのの人々に愛読され、後に映画にもなりました。少年時代に過ごしたこの街を鳥瞰で描く時、私には子供たちの歓声があちらこちらから聞こえてくるのです。写真家・及川清治郎さん(故人)の数々の写真によって、昭和30年頃の活気に満ちたドラマチックな生活の様子をうかがい知ることができたことが、このテーマにたどり着く大きな力となりました。

今回の展覧会では45点を選び、60年の画業を振り返りながら、絵を描いてきた根源にあるものを見極めたいと思っていますが、すべての始まりは大学入学直後からの石膏デッサンであったことは確かです。



- | | | | |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |
| E | F | G | H |
| I | J | | |
- Ⓐ「滞船(函館)」F30 油彩
 - Ⓑ「ブルータス像」石膏デッサン
 - Ⓒ「バジヤント像」石膏デッサン
 - Ⓓ「野辺」F80 油彩
 - Ⓔ「小さなものたち」F60 油彩
 - Ⓕ「寄せる波」F6 油彩
 - Ⓖ「雪の中で」F30 油彩
 - Ⓗ「森」F6 油彩
 - Ⓘ「ミロのヴィーナス全身像」石膏デッサン
 - ⓿「ホロナイ鳥瞰」90x220cm 油彩

北山 寛一 (Kitayama Kanichi)

1947年 北海道新篠津村生まれ、札幌市在住

長万部、江別、幌内(三笠市)で少年時代を過ごし、その後余市町、函館市、厚田村、喜茂別町、小樽市に居住～全道展、日仏現代美術展などで作品発表

1971年 北海道教育大学函館分校中学校課程美術科 卒業

1969年 全道展に初入選 1972年から5年連続受賞 1987年 会員推挙
日仏現代美術展にてクリティック賞受賞、安井賞展、浅井忠記念賞展入選、
北海道の美術(道立近代美術館企画展)等に出品

現在、グループ環、赤光社会員

主な個展

- 1974年 札幌時計台ギャラリー(札幌)
- 1980年 北2条ギャラリー(札幌)
- 1982年 小樽市美術館市民ギャラリー(小樽)
大阪フォルム画廊(東京)
- 2010年 STV北2条ビル エントランスアート(札幌)
- 1995年 アムアートギャラリー(札幌)
- 2017年 大丸藤井セントラル(札幌)